

BCPに基づくリスクマネジメントと 大型案件の受け入れ体制 [改訂版]

いかなる災害時でもお客様のデータを守り、
定期物、シリーズ物、大量ページといった大型案件も安心して
お任せいただける当社の設備、組織力について紹介します。

■BCPとは

BCPは事業継続計画（Business Continuity Plan）の略称で、不測の事態が発生した際の、企業としての対応策をまとめたものです。

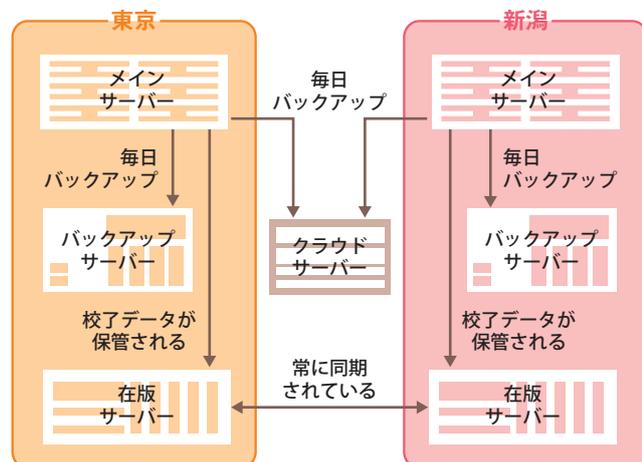
当社では、万一災害や事故などにより通常業務が中断してしまった場合でも、その損害を最小限に抑え、かつ当社の主業務であるDTPデータ制作を速やかに再開させることを目的とした計画を、東京都の指導のもと策定しています。 (財)東京都中小企業振興公社のウェブサイトでも、当社が策定したBCPの内容がご覧いただけます。



■お客様のデータを守る仕組み

当社は東京と新潟の2拠点で業務体制を構築しています。それぞれの拠点には免震装置を備えた大容量ファイルサーバーを設置し、作業中のデータはすべてこのサーバーで一元管理されています。

制作業務を行う際は、サーバー内のデータを直接編集していくため、データの若返りといったトラブルが起きない作業フローとなっています。



明昌堂のデータ管理概略図

また、データの誤削除や破損などに備えて、データのバックアップ体制にも万全を期しています。東京、新潟それぞれの拠点には、メインのファイルサーバーとは別にバックアップ専用のファイルサーバーを設置。このサーバーに過去100日分程度の作業



免震装置を備えたメインサーバー

中データが毎日バックアップされています。加えて各拠点のメインサーバー内のデータは、社内のバックアップサーバーだけでなく、クラウドサーバーへも毎日バックアップされています。

当社での作業が完了し、お客様への納品が完了すると、校了データは原則消去せず、順次保管専用のサーバー（在版サーバー）に格納します。校了データは必要に応じていつでもここから取り出すことが可能です。在版サーバーは東京と新潟それぞれの拠点にあり、常に同期が保たれています。

このように、作業中データも校了データも同じ状態のものを常に2ヶ所で保管する体制が取られています。そのため、万一どちらかの拠点が大規模災害等に見舞われたとしても、大切なデータを消失することはなく、もう一方の拠点ですぐに作業を再開させることができます。

当社へデータをお預けいただくことは、お客様にとってもリスクマネジメントやBCPの一環といえるでしょう。

■大型案件受け入れのための体制構築

①多種多様な制作実績

当社では、読み物、ムック、学習参考書、実用書、旅行ガイドといった一般書から、医学、資格、法律、機械工学といった専門書まで、数多くのジャンルの書籍や雑誌を幅広く制作しています。

②豊富な最新設備

自動組版や画像加工等のデータ制作技術、右表のような最新のハードウェア、ソフトウェア、またデジタル検版システム等の品質保持のための設備を有しており、多くのバリエーションから最適なワークフローを選択することが可能です。

③協力会社との連携

編集業務や印刷製本といった工程についても、当社は多くの編集プロダクションやイラストレーター、印刷会社と協力関係を築いているため、ご希望に沿った外部スタッフをご紹介することができます。

④生産効率を高める社員の多能化

当社は突発的な大型案件にも対応できるよう、社員の多能化を進めています。各オペレーターは幅広いジャンルの組版ができるだけでなく、イラスト作成、デザイン制作、スクリプト開発など、それぞれが得意とする複数の業務を担当することが可能です。社員の多能化はBCP対策の一環でもあります。

⑤進行管理の専任スタッフ、DTPディレクター

発注いただいた商品については、そのジャンルや制作日数、予算といった諸条件を考慮し、営業スタッフが原稿入稿から納品までのワークフローを提案いたし

設備一覧

Mac OS 9環境	2台
Mac OS X環境	75台
Windows環境	4台
スキャナ (EPSON DS-20000)	2台
インクジェット大判プリンタ (EPSON SC-P9550)	2台
カラーブルーファァー (PRIMOJET SOFT-XG)	1台
カラーレーザープリンタ (DocuColor 7171P)	5台
RIPシステム (EQUIOS Ver6.0)	1台
ワークフローサーバー (HELIOS Station)	2台
デジタル検版システム (ProofChecker Pro)	3台
デジタル検版システム (DoTop)	1台
自動処理ワークフローシステム (Switch)	3台
PDFプリフライトサーバー (PitStop)	3台

ます。特に定期物、シリーズ物、大量ページといった大きな案件につきましては、営業スタッフのほか経験豊富なDTPディレクターが制作業務の進行面や技術面をサポートいたします。DTPディレクターは制作内容について綿密なヒアリングを行い、入稿方法の最適化提案、技術面のボトルネック解消、適切な制作スタッフの配備など、制作前段階でさまざまなケースを想定した準備・段取りを行います。この事前準備がその後の作業を円滑に進めるための、また制作予算を抑えるための大きなポイントとなります。

基本的な作業工程が決定したあとは、総勢70名のデザイナー・オペレーター・イラストレーターが一丸となって作業に当たります。当社では、すべての仕事の進行状況が自社で開発した専用のデータベースによってリアルタイムに管理されており、その情報をもとに

制作スタッフが各工程の作業を進め、品質を維持しながらお客様の希望されるスケジュールで商品を仕上げています。

カタログ等の大量ページ案件や定期刊行物、数冊から数十冊のシリーズ商品をこれから立ち上げる、またはそういった商品の予算やワークフローの見直しを検討される際は、ぜひ当社にご相談ください。



当社の作業拠点のひとつである新潟支社の作業風景